

**第18回明石ラン展感想文**

会期 平成16年1月22日～25日

会場 明幸園平野店

Y 記

毎年、ラン展時期になると何  
 もかも忙しくなるのです。パソ  
 コンいじって会報関係の整理や  
 ラン展資料を揃えたりと、益々  
 この担当から抜けられなくなる  
 のが見えているのですが、近づ  
 いてくると情性も半分、何故か  
 張り切っている自分が妙にイヤ  
 になるのです。

さて、今年も明幸園平野店へ  
 ポスターと開催要領を持参して  
 会場借上げの話の店長と交渉し  
 ましたが、3年目ともなると、  
 話もスムーズに進みお互い慣れ  
 てきたので、その点は気楽でし  
 た。しかし、不安なのは展示花  
 が揃うのか、これまで以上に盛  
 大な展示会にできるかどうかは、  
 ‘出たとこ勝負、’のため会員の  
 協力が大いに必要なところでし  
 た。事前の月例会では、どうも  
 雲行き怪しくて「花が早くに咲  
 き終わった」とか、当番を確認  
 してもなかなか手が挙がらず  
 「大丈夫かいな」と感じたのが  
 率直な感想でもありました。

**搬入当日**



私も立場上と言いますか、と  
 りあえず13時から搬入を始め  
 ると言った手前もあつて早めの  
 12時に会場へ到着しました。

すると、既にNさんの愛車ク  
 ラウンが駐車してあるではあり  
 ません。何時に来られたのか  
 と尋ねたところ、何と驚きの10  
 時に着いてセッセと会場設営を  
 整えておられたのです。明幸園  
 の店員も「見た目、ヤンチャな  
 オッサン」が出てきてビックリ  
 したことと思えますが、当会に  
 とつてはNさんのような裏方さ  
 んがおられると本当に助かりま  
 した。

その後、それぞれ会員株の搬  
 入が続々と持込まれ、その都度  
 デイスプレイの変更が生じ「あ  
 れやこれや」とやり直しをしな  
 がら最終的には、出品点数は前  
 回を大きく上回る176点もの  
 鉢数が揃い、出品者数も5名増  
 加で予想以上に盛大なラン展と  
 なりました。

**審査と入賞株**

いつも審査側に回って困るの  
 は、同じ人の作品が数多く評価  
 され、複数受賞を制限している  
 関係上、得票されていない株を  
 見つけるのに時間的余裕もない  
 ことから苦労すること、最後  
 の方は本当に唸ってしまいます。  
 最優秀賞については、人気投票  
 結果を参考として、栽培に優れ、  
 一般来場者にも同一評価を得ら  
 れるような総合的判断が求めら  
 れ、大差があれば問題ないん  
 ですが、大概の場合似たりよつた  
 りで気苦労が耐えません。

そんな中、人気投票部門は第  
 1位ながら鉢の上に“漬物石”  
 を置いたため、次順位に甘んじ  
 たKさんの「メロディーフェア  
 ー」は本当に残念でした。せつ  
 かく、出品株は相当な出来で、  
 “究極の放任栽培”を如何なく  
 發揮？していたのですが、見映  
 えだけが悪いんですね。言い

方変えれば、”無精栽培”にも  
 見えるところが辛いところです。  
 後日談ですが、Kさん宅へ先  
 日訪問して温室を覗かせていた  
 だいたところ、どの株も全て満  
 作で咲いているのに圧倒されま  
 した。「親はいなくても蘭は育  
 つ？」かのごとく、温室内は満  
 開に咲き乱れていましたが、や  
 っぱり親がいなくて蘭は暴れ放  
 題で、植替えを無精した結果、  
 バルブがはみ出し、すっかり非  
 行に走っているかのようでした。

今年の最優秀賞は、永井さん  
 の「バンダ、テレス、オーヤマ  
 ザキ、」で、花が大きく「蘭お  
 かやま」で大賞とつたとき以上  
 の出来でした。渋谷(敏)さんか  
 ら言わすと「土俵が違う」との  
 表現でしたが、正にそのとおり  
 で、地方のラン展には不向きな  
 ほど別格の存在で、審査員泣か  
 せの株とも思いました。

大きさでは下森さんの「パメ  
 ラヘザリントン」は重量と花数  
 では1番でした。松坂屋で開  
 催されたJOSのラン展でベス  
 トオブフラワーに同品種が受賞  
 していましたが、下森さんの株  
 の半分くらいでした。  
 もう少し頑張れば上位に食い  
 込んだと思われるのが、松下さ  
 んの「B. グラウカ」で、輪数

疑惑を呼んだ究極のワーネリーアルバ、本物  
 だったらFCC間違いなし 角谷さん出品



**最後に反省**

も多く出来も良かったのですが、  
 正面向いて咲いていなかったの  
 が残念だったと思います。

ラン展では、「ベストワン」  
 を競うのが通例ですが、最近低  
 迷している私の場合は、今流行  
 りの「世界でひとつだけの花、  
 オンリーワンですよ」とばかり、  
 カッコつけようと思っていたの  
 ですが、何のことない「MC株」  
 ばかりで、個性的な花は一切な  
 く、展示すれば、自分の株がわ  
 からないほど影が薄くなってい  
 ました。やむを得ず即売株売上  
 げに期待したものの、角谷さん  
 には固定客が付いているし、自  
 分の株は売れ残り続出、やっぱ  
 り今回も「成績不振のワースト  
 ワン」だったようです。  
 最近の私は「蘭の原稿書き」  
 だけが、定位置になってきたよ  
 うな気がしています。